

船舶事故等調査報告書

平成26年11月27日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2014横第76号
事故等種類	転覆
発生日時	平成26年7月2日（水） 14時00分ごろ
発生場所	神奈川県逗子市逗子海岸西方沖 神奈川県葉山町所在の葉山港A防波堤灯台から真方位308° 1,020m付近 （概位 北緯35°17.4′ 東経139°33.4′）
事故等調査の経過	平成26年7月3日、本事故の調査を担当する主管調査官（横浜事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	プレジャーモーターボート ^{トラモント} Tramonto、5トン未満（長さ2.97m） 235-49973 神奈川、個人所有
乗組員等に関する情報	船長、一級小型船舶操縦士
死傷者等	なし
損傷	船外機が濡損
事故等の経過	本船は、船長が1人で乗り組み、同乗者3人を乗せ、逗子海岸西方沖で釣りを行っていたが、船長が、釣り場を移動するため、加速して右へ旋回したところ、右舷船首部のガンネルが海面下となるまで傾斜して右舷船首部から海水が船内に流入し、平成26年7月2日14時00分ごろ右舷側から転覆した。 船長及び同乗者3人は、海に投げ出されたが、同乗者が携帯電話で海上保安庁に事故の発生を通報し、全員が転覆した本船につかまって救助を待っていたところ、来援した葉山町所在のマリーナ所属船に救助された。 本船は、逗子市所在のマリーナ所属船にえい航されて逗子海岸に陸揚げされた。
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 南西、風力 3、視界 良好 海象：海上 平穏、潮汐 低潮時
その他の事項	本船は、本事故後、船長が、船尾のトランサム下部に設けられたドレン抜き穴のプラグを閉め忘れていたことが分かり、また、閉め忘れた場合、ドレン抜き穴から甲板下の空気室に海水が入る構造となっていた。 船長は、小型船舶操縦免許を取得後、本事故当日が、初めての操船であった。 船長及び同乗者は、全員が救命胴衣を着用していた。

	本船の最大搭載人員は4人であった。
分析 乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	あり あり なし 本船は、逗子海岸西方沖で釣り場を移動するため航行中、船長が、ドレン抜き穴のプラグを閉め忘れていたことから、甲板下の空気室に海水が入り、乾舷が減少している状態で加速して右に旋回した際、右舷船首部のガンネルが海面下となるまで傾斜し、海水が船内に入り、右舷側に転覆したものと考えられる。
原因	本事故は、本船が、逗子海岸西方沖で釣り場を移動するため航行中、船長が、ドレン抜き穴のプラグを閉め忘れていたため、甲板下の空気室に海水が入り、乾舷が減少している状態で加速して右に旋回した際、右舷船首部のガンネルが海面下となるまで傾斜し、海水が船内に入り、右舷側に転覆したことにより発生したものと考えられる。
参考	今後の同種事故等の再発防止及び被害の軽減に役立つ事項として、次のことが考えられる。 <ul style="list-style-type: none"> ・発航前の点検において、ドレン抜き穴のプラグの閉鎖を確認すること。 ・緊急時の連絡手段を確保するため、防水型又は防水パックに入れた携帯電話を携行しておくことが望ましい。